

令和6年7月から文章生成AIの部分導入を開始します

令和6年7月から、導入効果の高い業務・部署を対象に、文章生成AI（チャットGPTを活用したシステム）を部分的に導入し、業務の効率化への有効性の検証を行います。

1 導入経緯

川崎市では、令和5年7月末から約2か月間、総務企画局デジタル化施策推進室において文章生成AIの試行利用を実施するとともに、本年3月に利用上のルールや効果的な活用方法をまとめた「川崎市文章生成AI利活用ガイドライン」を策定するなど、文章生成AIの利用に向けた取組を進めてきました。現在、導入部署への研修実施の調整等を行っており、7月から部分導入を開始します。

2 利用開始日

令和6年7月1日（月）

3 導入部署

庁内で利用希望調査を実施し、企画立案部門やイベント等を企画・実施する部門等を優先的に選定するとともに、より効果的な活用方法を見出すことも視野に入れ、特定の部署に偏らないよう調整し、220名の利用を決定しました。

●主な導入部署と想定業務

局名	想定される主な業務内容等
総務企画局	・企画案のアイデア出し ・考えの整理 等
経済労働局	・事業の企画案のアイデア出し ・チラシや魅力発信のキャッチコピー案のアイデア出し
環境局	・環境情報誌面作成の原案提案、校正 ・VBA マクロの作成補助 ・各種案内文やメール文案の作成
各区役所	・会議参加者の挨拶文作成 ・市民への浸透度の低い分野における専門用語の説明文案作成 ・各イベントにおける新しいアンケート案の作成

※利用に当たっては裏付けや根拠を必ず確認する等、業務効率化等を図るための補助として活用することとしております。

4 利用環境等

入力された内容（質問文・回答）は、生成A Iの学習データとして利用されません。

5 今後について

導入後1か月程度を目途に利用する職員にアンケート調査を実施するとともに、年度末までに改めて業務の効率化や有効性に係る調査を行い、効果を検証します。また、調査に際しては、活用事例を併せて収集し、好事例を庁内に横展開する等、効果的な利活用に向けて取り組んでいきます。

6 参考

「川崎市文章生成A I利活用ガイドライン」について

https://www.city.kawasaki.jp/templates/press/cmsfiles/contents/0000164/164695/20240326_seiseiAI.pdf

【問合せ先】

川崎市総務企画局デジタル化施策推進室 加藤
電話 044-200-3567